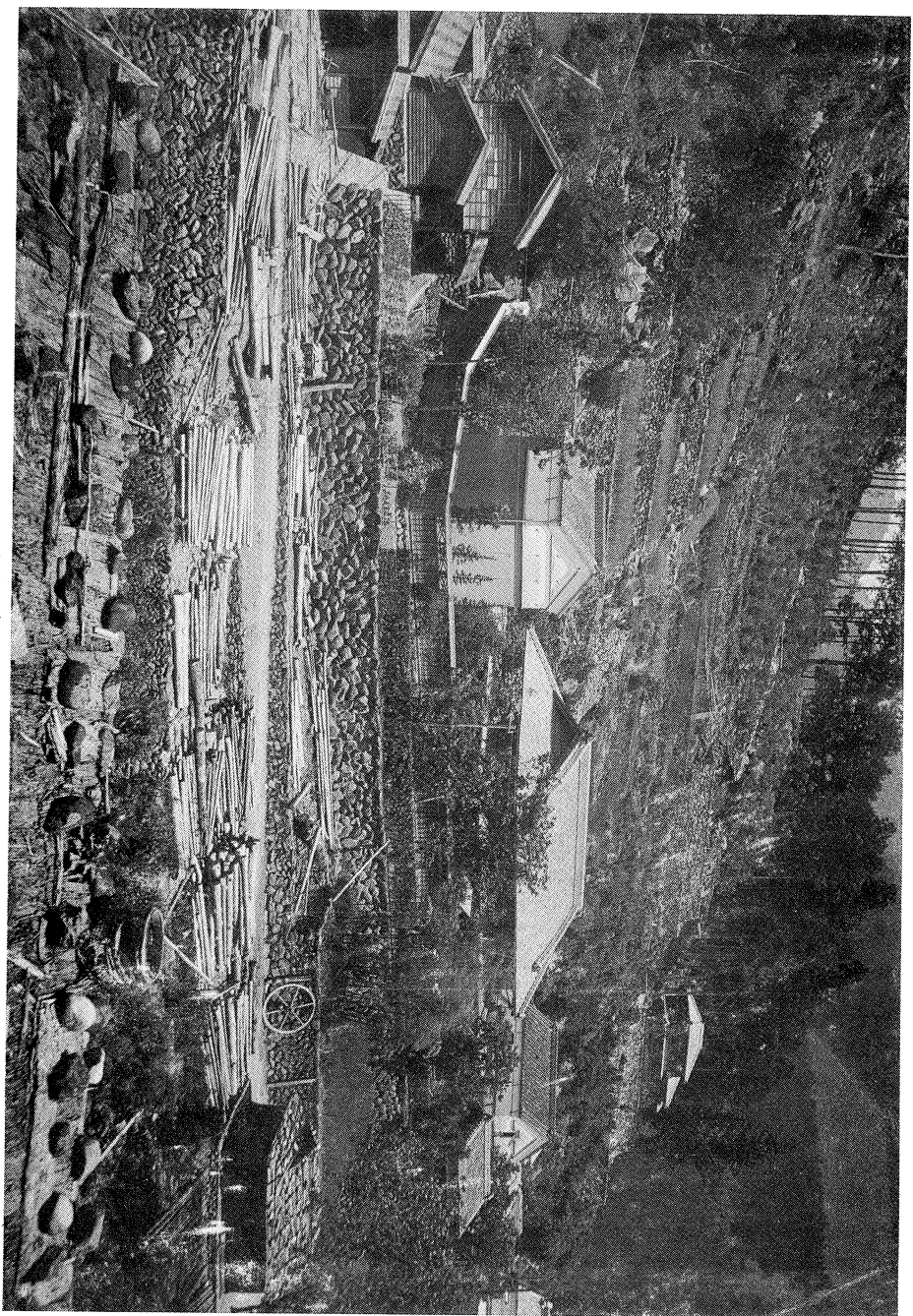


静岡女子
短期大学蔵

和田文庫目録

静岡女子
短期大学蔵

和田文庫目録



静岡県磐田郡竜山村西川和田家全景 書籍は土蔵（写真右端）に収められていた。

凡 例

一、本目録は昭和五十五年に和田明氏から本学附属図書館に寄贈された図書資料（書冊類一一五二、文書類九二）の目録である。

一、書冊形態の図書資料は便宜上、明治以前のものと以後のものに分け、さらに前者は和書と漢籍とに、後者は和装本（木版本・活版本）と洋装本とに分けた。文書類はその内容によって(1)文書（一枚物の江戸期古文書）(2)絵図（明治以降の地図も含む）(3)記録（明治以降の和田家の諸記録・資料）(4)家祀（江戸期以来の和田家の宗教上の記録等）(5)雑（昭和期の和田一族手沢品等）に分けた。

一、排列はそれぞれの区分ごとに五十音順によった。文書類については年代順の排列に努めたが不明のものもある。

一、書名は原則として外題とった。冠称はこれを省いて書名とし、その部分が必要に応じて後に注した。ただし冠称付きのほうが書名として適当と思われるものはそのままとした。明治以前の書籍については『国書総目録』に拠った。題簽剥落等により外題のない場合は内題をとり、その旨を注した。外題と内題とが異なる場合は外題をとり、内題は注記した。また、仮題は「――」で括った。

一、出版の年代は刊記によるが、版を重ねているものについてはその最終版年をとった。版年不明の場合、序・跋年がわかるものについてはそれを記した。

一、書入・絵・蔵書印・収納箱の有無については、それらが存する場合にのみ記した。

一、「〔補〕」欄は補遺を意味し、内・外題の相違、角書、識語、書入等当該書に関する特記事項を記した。

一、本目録は左記の区分によって、各委員が分担執筆した。

漢籍関係

和書

上代～中世文学関係・語学書

近世文学関係および実学書等

辞書・地誌等

明治以後の洋装活字本

記録・文書類

稲垣・小島

須田

佐藤

岩崎

鈴木

岩崎

目次

一	明治以前の書籍	1
(1)	和書	1
(2)	漢籍	9
二	明治以後の書籍	13
(1)	和装本	13
	イ 木版本	13
	ロ 活版本	14
(2)	洋装本	15
三	記録・文書類	18
(1)	文書	18
(2)	絵図	20
(3)	記録	21
(4)	家祀	22
(5)	雑	23

一 明治以前の書籍

(1) 和書

あるかり 刊 一冊 天保六年序

(補) 「浪華 流香堂刻」。

赤鍛夷風説考 写 一卷一冊 天明元年写 蔵書印 朱書

入

(補) 卷末「天明元年初夏下流」。

天の眞はしら 刊 一卷一冊 文政四年刊

(補) 序題・柱刻「天のみはしら」。

新刃銘尽 刊 六卷二冊 享保六年序

(補) 後刷本。

伊勢物語 刊 二卷一冊 万治二年刊 墨印絵入 朱書入

(補) 替表紙に書題簽を付す。一部、裏打あり。

伊奈家法地方伝記 写 一冊 近世末写

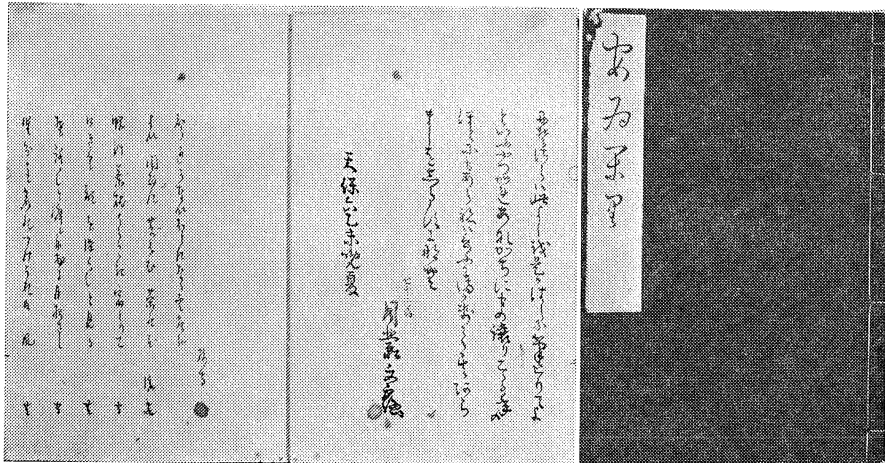
うつらふえ 刊 一冊 天保六年跋

(補) 内題「鶉笛集」。

猿山書札私用集 刊 一冊 安永六年成立

大雑書 刊 一冊 絵入

(補) 刊記はないが、所載の藩名・大名氏名から文化年



あ る か り

間の刊行とみられる。

大祓詞後釈 刊 二卷二冊 寛政七年序

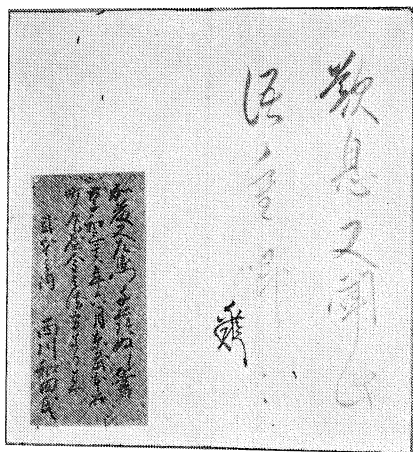
岡の屋家集 刊 二卷一冊 享和四年序

落穂集 写 一〇卷一冊 文化四年写 蔵書印 書入

(補) 内題「落穂集卷之一 和田万佐久」。卷末「和田万佐久」。識語「文化四丁卯年三月写之 相良在菅ヶ谷村川田氏所持之本を以写 和田寿嶺」。

〔加藤千蔭手蹟〕 写 二帖 蔵書印 折本

(補) 識語(見返しに貼紙)は一帖に「加藤又左衛門千蔭ぬし書／享和三亥年六月江戸本石町／四丁目丸屋金兵衛方より来ル／式本之内 西川和田氏」とある。この帖には壬生忠岑の長歌等が書かれている。他の帖にも貼紙



識語があつて右とほぼ同文。これには白居易「琵琶行」



伝 女 列 名 仮

が書かれている。

仮名列女伝 刊 八卷六冊 絵入

(補) 内題「仮名列女伝」。柱刻「列女」。跋に「きのとのひつしもしもつきのちの六日 季吟子」とある。「きのとのひつし」は明暦一年。

神代正語 刊 二卷二冊 寛政一年序

(補) 内題「神代正語」。

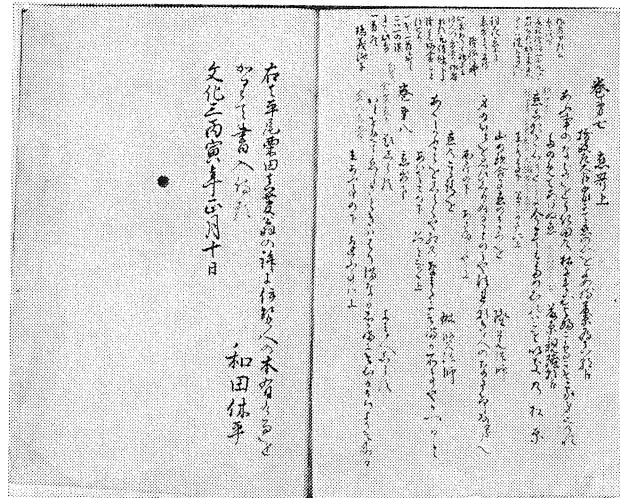
冠辞考 刊 一〇卷六冊 宝暦一四年跋 蔵書印
寛政元酉同二戌日記 写 一冊 朱・墨書入

(補) 「天爾遠波初門写書」「巡座鯉鱗行三」と合綴。
寛政期の詠句を記す。寛政七年までのものがある。

〔観世流謡本〕 刊 一七冊 享保一八年刊 蔵書印

- ・高砂／たむら／熊野／はん女／鵜飼
- ・白楽天／さねもり／玉かつら／柏崎／とほる
- ・養老／きよつね／采女／あふひの上／遊行柳
- ・竹生嶋／朝長／をはすて／三井寺／あこき
- ・志賀／ぬえ／小原御幸／紅葉狩／梅かえ
- ・蟻通／たたのり／楊貴妃／とくさ／藤戸
- ・玉の井／景清／かきつはた／安達原／たえま
- ・賀茂／俊寛／松かせ／西行桜／誓願寺
- ・くれは／八嶋／あふむ小町／さくら川／東岸居士
- ・龍田／あつもり／夕かは／すみた川／うとふ
- ・春日竜神／ふなはし／江口／はなかたみ／源氏供養

- ・山姥／みちもり／檜垣／富士太鼓／をしほ
- ・蘆荊／善界／はせを／通小町／天鼓
- ・右近／をみなへし／関寺小町／二人しつか／浮舟
- ・三輪／あたか／軒端梅／にしき木／雲林院
- ・白髭／もりひさ／仏はら／道成寺／唐船
- ・邯鄲／殺生石／野宮／百万／自然居士



金葉和謡集

(補) もと二〇冊一〇〇番揃本。「二」「三」「十二」を欠く。「右之本者観世左近大夫／以章句真本今亦新令改／版者也／享保十八癸丑 歳仲呂」の奥書を有する、いわゆる山長版である(後刷か)。

帰春氏書 写 一冊 寛政一一年写

(補) 書収録冊子本。

金葉和調集 刊 一〇巻一冊 朱・墨書入

(補) 見返しの識語「右者平尾栗田真菅翁の許に伊勢人の本有けるを／かりて書入侍る 和田休平／文化三丙寅年正月十日」。「詞花和歌集」を参照。

九十番歌合 写 一冊 文化一一年写 朱書入

(補) 替表紙題簽には「歌合集」とある。「六拾番歌合」と合綴一冊。原表紙は扉になっている。扉には「文化元甲子年六月二十四日／本居春庭太人判／催主／高林方朗(ハヤ)九十番歌合／陸沈窩珍藏」とある。また、見返しには、「本居春庭愚評／文化元年五月廿八日開評催主 高林方朗／六月二十四日写之／陸沈窩」とある。

くす花 刊 二巻一冊 享和三年刊 蔵書印

(補) 内題「くずばな」。

くにまたぎ 刊 一巻一冊 天保六年刊

雲隠説 刊 一巻一冊

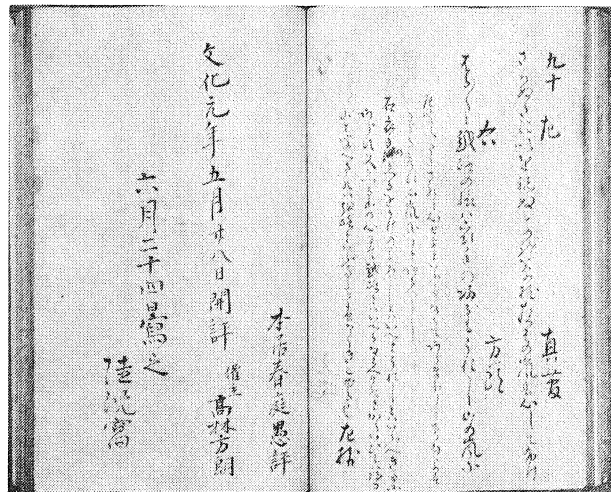
群書類従 刊 三七冊 絵入 蔵書印

(補) 端本。三七冊内訳 4 5 6 7 11 12 28 44 50 52 78 上 78 下

源氏物語系図 刊 一巻一冊
源氏物語年立 刊 二巻二冊

(補) 内題「源氏物語諸巻年立」。

232 92
240 150
240 151
240 152 上
327 152 下
335 161 上
339 161 下
161 上
164 上
164 下
165
168
174
177
190
194
198
200
210
223



九十番歌合

古義神代考 刊 三卷二冊

古今集遠鏡 刊 六卷六冊 藏書印

古今余材抄 写 八卷一〇冊 朱・墨書入 藏書印

古今和歌集 刊 二〇卷二冊 藏書印

古今銘尽大全 刊 二冊 安永七年刊 藏書印

(補) 刊記「元録拾五年正月吉日 安永七年戊正月再板」。

古事記伝 刊 一九冊

(補) 四四卷四四冊のところ、残存卷は「一之卷」ゝ「十之卷」および「二十一之卷」ゝ「二十九卷」の一九冊。

古言梯 刊 一卷一冊 明和二年序 藏書印 朱書入

(補) 見返しに墨書して「天明元辛丑秋九月／西川／桃江舎」とある。

古言梯 再考 刊 一卷一冊

言葉の玉緒 刊 七卷五冊 藏書印

(補) 標記は「一」の外題。なお、「二」「三」は「詞のたまのを」、「四」は「辞之玉緒」、「五」「六」と「七」は「ことはの玉の緒」。内題はすべての巻が「詞瓊綸」。

姑射文庫 刊 三卷三冊 明和五年刊 藏書印 絵入

(歳旦帖) 刊 一冊 文化一三年刊 藏書印

(補) 替表紙。元題簽(記載事項確認不能)上に、別題簽「句集」(書写)を貼付。巻頭に「文化十三丙子」と

ある。

三国通覧図説 写 一冊 文化四年写 絵入 藏書印

三大考 古事記佐十七附卷 刊 一卷一冊

三代調類題 刊 八卷六冊 文政四年序 藏書印

字音かなつかひ 刊 一卷一冊 安永五年刊 藏書印

(補) 内題の表記「字音仮字用格」。見返しに墨書して「遠州豊田郡石打村／匹野宗兵衛／所持(別筆)春郊／匹文恭」とある。

詞花和歌集 刊 一〇卷一冊 朱・墨書入 藏書印

(補) 見返しの識語「栗田真菅翁の許に伊勢人の本の有けるをかりもて来て／書入侍る但書入も仮名はみたれたる様に見へ侍るなり／あらたむへし／文化三丙寅年正月廿一日 和田休平」。「金葉和詞集」参照。

宿名読込句集 写 一冊 近世末写

(補) 東海道・中山道など宿場名の題詠句集。

巡座鯉鱗行三 写 一冊 朱・墨書入

(補) 「天爾遠波初門写書」「寛政元酉同二戌日記」と合綴。その二一丁才に表題。題の右下に「竹林舎 連(墨)「上様」(朱)、左に「心城庵宗近」とある。三一才には「無尽蔵／心城庵」と墨書。

袖中和歌六帖 刊 二卷二冊 寛政九年刊 藏書印

将棊図式 刊 一冊 寛文九年序

(補) 題簽「五代目大橋宗桂 将棊図式」。見返し「大橋宗桂先生著

将棋図式」。

初学天文指南 刊 五卷三冊 宝永三年刊

(補) 内題「初学天文指南鈔 卷之一 馬場信武述」。
柱刻「天文指南鈔」。

初学和歌式 刊 七卷二冊 正徳三年刊 蔵書印

(補) 題簽は、後の書題簽。内題「初学和哥式」。

新古今和歌集 刊 二〇卷四冊 正保四年刊 朱・墨書入
蔵書印

(補) 識語「文化五戊辰年二月六日書入終りぬ／桃源院
大雲壽嶺居士」。「壽嶺居士」については「落穂集」参照。

新勅撰和歌集 刊 二〇卷二冊 蔵書印

(補) 外題は、後の書題簽。

すぎそめ集 刊 一冊 天保五年序

菅笠日記 写 一冊 近世末写 蔵書印 書入(別筆)

(補) 識語「此書をかり得て小西四郎右衛門といへる若
おのこにうつさせぬ 遠州西川 和田邦孝」。

鈴屋大人都日記 刊 二卷二冊 文政二年序 蔵書印

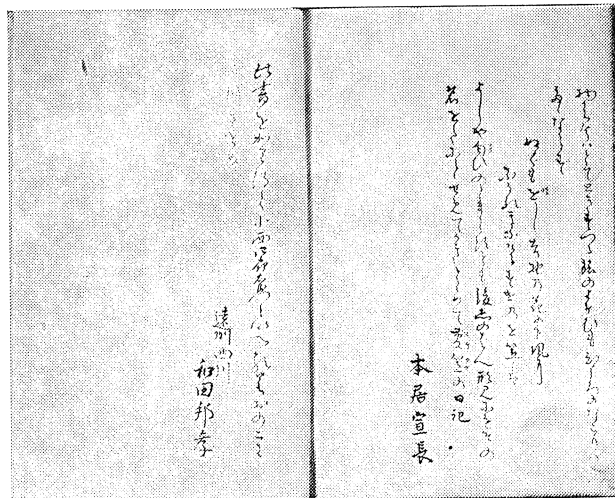
(補) 内題「都日記」。

政談 写 四卷四冊 近世末写 蔵書印

(補) 外題に「政談 一(一四)」とあるが、一↓四は旧
蔵者による錯簡で、実は四↓一となるべきもの。

千載和調集 刊 二〇卷二冊 蔵書印

〔川柳雑俳集〕 写 一卷一冊 近世末写 書入



菅 笠 日 記

草庵集玉簪 刊 九卷五冊

増補改正孔方図鑑 刊 一冊 寛政二年刊か

(補) 天明四年五月序。「増補改正珍貨孔方図鑑」と合
綴。

増補改正珍貨孔方図鑑 刊 一冊 寛政二年刊

(補) 天明五年九月序。「増補改正孔方図鑑」と合綴。

増補和哥題林抄 刊 一卷四冊 宝永三年刊 蔵書印

(補) 題簽角書「頭書」。

続草庵集玉簪 刊 二卷一冊 天明六年刊

(補) 刊記の左に傍書して「寛政九丁巳年六月下旬到来共二六卷」とある。「草庵集玉簪」と併せて六冊という意味である。

大学或問 刊 一卷二冊 天明八年刊

玉あられ 刊 一卷一冊 寛政四年刊 蔵書印

玉かつま 刊 九卷九冊 寛政一年刊 蔵書印

玉くしけ 刊 一卷一冊 寛政一年刊

(補) 内題「玉くしげ」。柱刻「玉匣」。

玉鉾百首 刊 一卷一冊 天明七年刊 蔵書印

通俗漢楚軍談 刊 一五卷一五冊 元禄八年刊

(補) 書写題簽は、単に「漢楚軍談」とある。内題「通俗漢楚軍談」。

通俗吳越軍談 刊 一八卷一八冊 元禄一六年刊

(補) 内題「通俗列国志吳越軍談」。

築山庭造伝 刊 三卷三冊 享保二〇年序

(補) 明治後刷本。刊記に「発行書肆 東京日本橋通壺

丁目 北畠茂兵衛(以下略)」とある。

つれつれ草 刊 二冊 正保二年刊

(補) 替表紙。他本の表紙を用い、原題簽の上に貼紙し

て「つれつれ草」と表記。

天爾遠波初門写書 写 一卷一冊 朱・墨書入(別筆)

(補) 「巡座鯉鱗行三」「寛政元酉同二戌 日記」と合綴。

島僊子印譜 刊 三卷三冊 宝暦六年刊か

(補) 題簽「芸閣先生文集」をもつ別本表紙による改装本。序題「島仙子印譜」。序に、「寛延庚午秋七月下浣(第一卷)・寛延辛未五月下浣(第二卷)・宝暦二年壬申孟冬中浣(第三卷)」とある。なお、第三卷卷末に、「宝暦丙子孟秋穀旦(朱)・亦醉亭藏版(白)」がある。また、第一卷表紙見返しに、「平安 亦醉亭藏」とある。

土左日記抄 刊 二卷二冊 寛文一年刊 蔵書印

内国史略 刊 八卷四冊 明治五年刊

(補) 凡例の部分は、筆写したもの。

鄙さへつり 刊 二卷一冊 嘉永三年序

日本故実秘録 写 一冊 寛政四年写 蔵書印

(補) 題簽「春期先生 日本故実秘録 全」。内題「故実義説」。

梅花心易掌中指南 刊 四卷一冊 元禄九年序 蔵書印

(補) 角書「聚類参考」。

般若心経決談抄 刊 一卷一冊 明和二年刊

(補) 内題「摩訶般若波羅蜜多心経決談抄」。

ひとつ鷺 刊 一冊 天保九年刊

夫木和歌鈔 刊 目錄一卷とも三七卷三七冊 寛文五年刊

箱入

平家物語評判 刊 二四卷二四冊 刊年不詳(田中庄兵衛

・梅村弥右衛門版) 藏書印

(補) 内題「平家物語評判秘伝抄」。柱刻「平家評林」。

ほくるま集 刊 一卷一冊 天保六年刊

(発句帳) 写 一冊 近世末成立 藏書印

本草綱目 刊 五二卷四一冊 絵入 藏書印 箱入

(補) 揃本。藏書印(白文・遠州西川和田氏家藏)。書入

(卷七・二九丁ウ・朱書、卷四四・卷末・墨書)。「新刊

本草綱目」。

本朝三国志 刊 三五卷三五冊 宝永六年刊

枕草子春曙抄 刊 一二卷六冊 延宝二年刊 藏書印

(補) 内題「春曙抄」。

万葉和歌集 刊 二〇卷二〇冊 宝永六年刊 朱・墨書入

藏書印

(補) 内題「万葉集」。

都名所図会 刊 六卷六冊 安永九年刊 絵入 藏書印

明題和歌全集 刊 七卷一〇冊 寛政七年刊 藏書印

明和風土記 写 四卷二冊 近世末写 藏書印

三河記 写 五冊 近世中期写

(補) 内題「三河物語」。目錄題「三河記」。

民家分量記 刊 五卷一冊 享保一一年刊 藏書印

訳文筌蹄 初篇 刊 六卷四冊 藏書印

(補) 内題「訳筌初編」。

八雲御抄 刊 六卷七冊 寛永二年刊 藏書印

八十浦之玉 刊 二卷二冊 文政一二年刊 藏書印

(補) 内題に「八十浦之玉 中巻」とあり、広告にも「八

十浦之玉上巻(中略) 近刻/同下巻(中略) 近刻」とあ

るから、中巻がまず版行されたものらしい。

米川十組香私記 刊 一卷一冊 宝暦一二年刊か

(補) 題簽「梅のしるへ」。他本(俳書)の表紙で改裝

したか。巻末に「宝暦十二年壬午歲臘月望日」。

流水吟 写 一冊 近世末成立

(補) 集中に「寛政八辰年九月十一日掛川云々」と見え

る。

類集あ之部 写 一卷一冊

(補) 替表紙に、題簽を付して標記のようにあるが、扉

が原表紙であつたらしい。本文共紙で「後撰類集あ之部」

とあり、その左下に「山口里ノ義躬」と記されている。

六拾番歌合 写 一冊 寛政一二年写

(補) 替表紙題簽には「歌合集」とある。「九十番歌合」

と合綴。四八丁ウに「岡廻屋太人評ノ六拾番歌合」とあ

る。

(和歌俳諧詠草雜記) 写 一冊 近世末成立

(補) 外題(題簽)「句集」。旧藏者による。

倭漢三才図会 刊 一〇七卷八一冊 絵入 藏書印

(補) 揃本。藏書印(朱文・遠州西川和田氏家藏)。正徳

版か。

和漢年契 刊 一卷一冊 寛政九年刊 蔵書印

(2) 漢籍

韻会小補 刊 附録一卷とも三一巻三一冊 正保五年刊

蔵書印 カナ点 (木版) 箱入

(補) 内題「古今韻会挙要小補」。

韻鏡反切例 刊 二巻一冊 寛文三年刊 朱・墨書入

(補) 内題「韻鏡字子」。

韻府古篆彙選 刊 五巻五冊 正徳三年刊 蔵書印

芸閣文集 刊 一〇巻三冊 安永六年刊 蔵書印 カナ点

(木版)

(補) 内題「芸閣先生文集」。

円機活法 刊 附録二巻とも四〇巻四〇冊 明暦二年刊

箱入 カナ点 (木版)

玉山先生詩集 刊 六巻二冊 宝暦四年刊 蔵書印 カナ

点

家語 刊 一〇巻三冊 寛永一五年刊 朱・墨書入

蔵書印 カナ点 (木版)

(補) 内題「孔子家語」。

江陵集 刊 四巻二冊 延享二年刊 蔵書印 カナ点 (木

版)

(補) 内題「江陵詩集」。

古今詩刪 刊 三四巻六冊 寛保三年刊 蔵書印 カナ点

(木版)

古文尚書標注 刊 一三巻三冊 天明三年刊 カナ点 (木

版)

三体詩 刊 三巻三冊 享保一〇年刊 朱書入 蔵書印

カナ点 (木版)

(補) 内題「重校正三体詩」。

史記評林 刊 附録一卷とも一三一巻五〇冊 延宝二年刊

朱書入 絵入 蔵書印 カナ点 (木版) 箱入

(補) 角書「新刻校正」。

詩經集注 刊 一五巻八冊 朱書入 蔵書印 カナ点 (木

版)

詩藪 刊 四巻四冊 貞享三年刊 朱書入 蔵書印 カナ

点 (木版)

七才子詩集注解 刊 七巻二冊 延享四年刊 カナ点 (木

版)

(補) 内題「新刻陳眉公攷正国朝 七子詩集注解」。

周易翼伝 刊 三巻三冊 文政二年刊 蔵書印 墨書入

カナ点 (木版)

春秋 刊 一冊 蔵書印 カナ点 (木版)

(補) 角書「新刻校正」。道春点。内題「春秋胡氏伝」。

書經 刊 二巻二冊 蔵書印 カナ点 (木版)

(補)道春点。

新刻蒙求

再版

刊 三卷三冊 明和四年刊 藏書印 カナ

点(木版)

(補)内題「標題徐狀元補注蒙求」。

清七子詩選

刊 七卷三冊 宝曆七年刊 朱書入 藏書印

カナ点(木版)

新川集

刊 二卷一冊 明和七年刊 藏書印 カナ点

(木版)

新增韻鏡易解大全

四

刊 一卷一冊 藏書印

(補)内題「韻鏡易解改正重刻卷四」。端本。

新增韻鏡字子大全

刊 一冊 元禄一二年刊 藏書印

(補)内題「新校正韻鏡字子」。

図繪宝鑑

刊 五卷三冊 朱・墨書入 藏書印 カナ点

(木版)

說苑

刊 二〇卷五冊 カナ点(木版)

世說新語補

刊 二〇卷一〇冊 安永八年刊 藏書印 カ

ナ点(木版)

尺牘双魚

刊 九卷四冊 承応三年刊 カナ点(木版)

(補)内題「新鐫增補較正寅幾熊先生尺牘双魚」。

斥非

刊 附録一卷とも二卷二冊 明和四年刊 藏書印

カナ点(木版)

(補)内題「斥非附録雜文九首」。

絶句解

刊 一冊 宝曆一三年刊 朱・墨書入 藏書印

カナ点(木版)

莊子

刊 一〇卷一〇冊 寛文三年刊 藏書印 カナ点

(木版)

(補)角書「頭書」。内題「莊子虞齋口義」。

滄溟尺牘国字解

刊 三卷二冊 明和二年刊 カナ点(木

版)

大学

刊 一冊 カナ点(木版)

(補)角書「新刻改正」。後藤点。内題「大学章句」。

大学章句

刊 一冊 元禄九年刊 藏書印 カナ点(木版)

(補)内題「四書集注」。

卓子藻林

刊 八卷八冊 元禄九年刊 藏書印 カナ点

(木版)

中庸

刊 一冊 藏書印 カナ点(木版)

(補)道春点。内題「中庸章句」。

中庸

刊 一冊 墨書入 藏書印 カナ点(木版)

(補)道春点。内題「中庸章句」。

篆字彙

刊 一二卷一二冊

東江先生書石摺

唐五言絶句
真行草

刊 一冊 安永七年刊 朱書入

唐国史補

刊 三卷二冊 天明二年刊 藏書印 カナ点

(木版)

唐詩国子弁

刊 五卷二冊 明和七年刊 青・墨書入

藏書印 カナ点(木版)

(補)五言古七言古。律詩排律。

杜詩絶句 刊 二卷一冊 寛文二年刊 蔵書印 カナ点 (木版)

(補) 内題「刻杜少陵先生詩集注絶句」。
杜律集解 刊 四卷二冊 朱・白・墨書入 カナ点 (木版)

(補) 内題「杜律五言集解」。

南郭先生文集 刊 カナ点 (木版)

初編 一〇卷三冊 享保一二年刊

四編 一〇卷三冊 宝曆八年刊

日下新詠 刊 一冊 蔵書印 カナ点 (木版)

弊帚集初編 刊 七卷二冊 明和七年刊 蔵書印 カナ点

(木版)

(補) 内題「弊帚集」。

磨光韻鏡 刊 二卷一冊 延享一年刊 蔵書印

孟子 刊 一四卷四冊 元禄九年刊 蔵書印 カナ点 (木版)

(補)

(補) 道春点。 内題「孟子 朱熹集注」。

孟子 刊 一四卷四冊 寛政三年刊 蔵書印 カナ点 (木版)

(補)

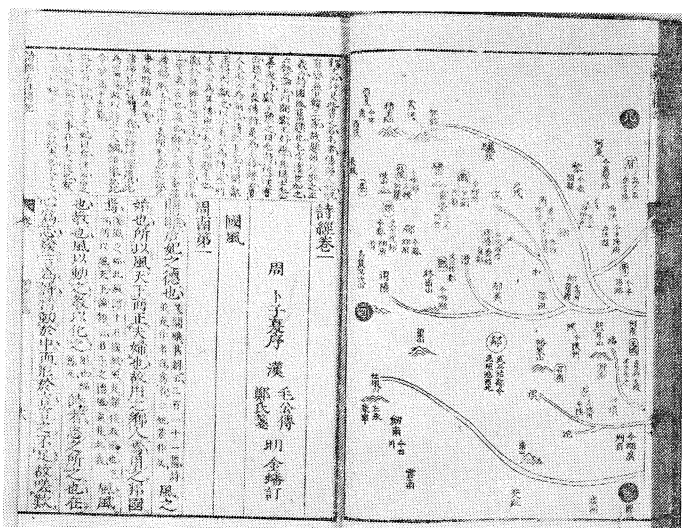
(補) 道春点。 内題「孟子 朱熹集注」。

孟子解 刊 七卷三冊 宝曆三年刊 カナ点 (木版)

毛詩鄭箋標注 刊 二〇卷五冊 天明六年刊 カナ点 (木版)

(補)

(補) 内題「詩経古注標注」。



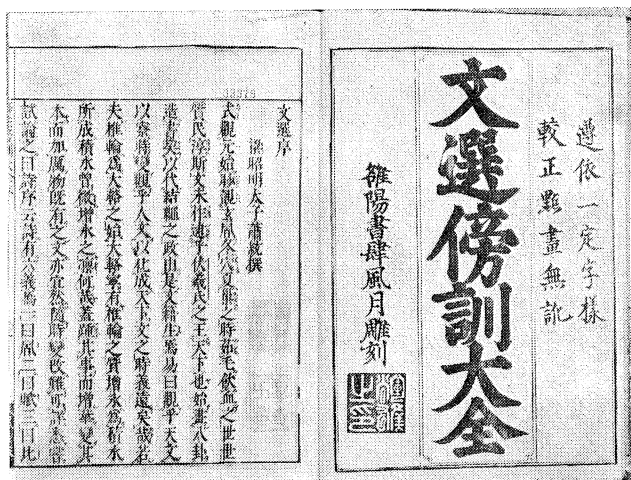
毛詩鄭箋標注

文選旁訓大全 刊 一五卷一〇冊 元禄一三年刊 蔵書印

カナ点 (木版)

(補) 角書「評苑改正」。 内題「文選傍訓大全」。

礼記 刊 四卷四冊 享保一八年刊 蔵書印 カナ点 (木版)



文選傍訓大全

版)

(補) 角書「新刻校正」。道春点。内題「礼記集說」。

李詩絕句 刊 二卷一冊 藏書印 カナ点 (木版)

(補) 内題「李太白絶句」。

李滄溟尺牘 刊 三卷一冊 宝曆一年刊 藏書印 カナ点

(木版)

(補) 内題「滄溟尺牘」。

竜艸廬集 刊 一〇卷一〇冊 安永九年刊 藏書印 カナ

点 (木版)

(補) 内題「艸廬先生集」。

列仙全伝 刊 九卷五冊 慶安三年刊 朱書入 絵入 藏

書印 カナ点 (木版)

(補) 角書「有象」。内題「有象列仙全伝」。

論語 刊 一〇卷四冊 藏書印 カナ点 (木版)

(補) 道春点。内題「論語 朱熹集注」。

論語古訓 刊 一〇卷二冊 元文四年刊

二 明治以後の書籍

(1) 和装本

イ 木版本

一六先生蘭亭帖 刊 一卷一冊 明治一六年刊
繪本通俗三国志 刊 七冊 明治一六年刊

(補) 内題角書「頭書増補」。

原本訳解金瓶梅 刊 四卷一冊 明治一六年刊 絵入

康熙字典 刊 四〇卷六冊 明治二五年再版

(補) 石川鴻斎編、龜頭音釈康熙字典。

皇国地名字類 刊 一冊 明治八年刊

(補) 卷頭より六〇丁まで落丁。所藏者署名として、「遠江国浜松県管下豊田郡大嶺村和田喜之太郎」とある。

国史略 刊 五卷五冊 明治九年刊 書入 蔵書印 カナ

点

国史略三編 刊 五卷五冊 明治一二年刊 墨書入 蔵書

印 カナ点

西国立志編 刊 一冊 明治四年刊 蔵書印

(補) 題簽「西国立志編原名自助論 第一冊(一第十一冊)」。

内題「斯邁爾斯スマイルス自助論」。

三七全伝南柯夢 刊 二冊 明治一六年刊

静岡県誌 刊 一卷一冊 明治十年刊 静岡県地図一葉

(彩色) 蔵書印

十八史略校本 刊 附録一卷とも八卷八冊 明治一二年刊

朱・墨書入 絵入(濃彩) 蔵書印 カナ点

(補) 角書「標纂」。

十八史略字解 刊 七卷一冊 明治一〇年刊 絵入 蔵書

印 漢字カナ書

春秋左氏伝校本 刊 三〇卷一五冊 明治四年刊 蔵書印

カナ点

(補) 角書「三刻」。

小学日本地誌略字引 刊 一冊 明治一一年刊

(補) 奥付「編集人千葉県土族荒野文雄、出版人静岡県

平民山下仁平、浜松駅神明町一二番地居住、静山堂山下

仁平蔵版」。

新增早見古状揃大全 刊 一卷一冊 明治三年刊

(補) 見返し題「明治新板新增早見古状揃大全」。

正文章軌範注釈 刊 七卷三冊 明治一一年刊 朱書入

蔵書印 カナ点

箋注蒙求校本 刊 三卷三冊 明治一三年刊 カナ点

増補元明史略 刊 四卷四冊 明治八年刊 蔵書印 カナ

点

(補) 角書「奥野精一標注」。

増補日本政記 刊 一六卷八冊 明治九年刊 朱・墨書入

藏書印 カナ点

続文章軌範注釈 刊 七卷三冊 明治一二年刊 藏書印

カナ点

尊攘紀事補遺 刊 二冊 明治一七年刊

(補) 角書「訂正」。

尊攘紀事 刊 四冊 明治一五年刊

譚海 刊 四卷四冊 明治一八年刊 カナ点

田畯年中行事 刊 二卷一冊 明治一〇年刊

(補) 角書「勸農備要」。

東西蒙求 刊 二卷一冊 明治一七年刊 カナ点

東洋義人百家伝 刊 二冊 明治一七年刊

標注日本外史 刊 二二卷二冊 明治一〇年刊 墨書入

絵入 藏書印 カナ点

(補) 角書「頼又二郎雲谷任斎」。

頼山陽真蹟上楽翁公書 刊 一冊 明治二六年刊

口 活版本

蛙園庭訓集 刊 一冊 明治二四年刊

異国奇談和莊兵衛 刊 一冊 明治一七年刊

絵本西遊全伝 刊 四冊 明治一六年刊

(補) 柱刻「絵本西遊記」。

雁のゆきかひ_下 一冊 大正三年刊

(補) 落合直文著、小野鷺堂書。角書「女子消息」。

漢書評林 刊 六九卷二二冊 明治一五年刊 藏書印 箱

入

古今百馬鹿 刊 一冊 明治一六年刊

滑稽四十八癖 刊 一冊 明治一八年刊

実々事譚 一冊 明治一六年刊

(補) 松村操著。

俊寛僧都嶋物語 刊 三冊 明治一五年刊

(補) 見返し「俊寛僧都嶋物語 全十巻」。

善悪応報鑑 刊 一冊 明治一九年刊

(補) 「報徳学幽顯論」「報徳手引草」と合綴。

椿説弓張月 刊 五冊 明治一六年序

(補) 端本。角書「鎮西八郎為朝外伝」。

南総里見八犬伝 刊 九輯二二冊 明治一六年刊

日光山沿革略記 一冊 明治三一年刊

(補) 別冊「^{總持}開祖御伝抄」(明治三九年再版)と合綴。

二宮翁夜話 一冊 明治二六年刊

(補) 福住正兄筆記。角書「報徳教祖」。

日本麦圃鑑 刊 一卷一冊 明治二五年刊

(補) 角書「勸農叢書」。

富国捷徑 刊 三冊 首巻・初編||明治一八年刊、二・四

編 同七、八年刊。

報徳学幽顯論 刊 一冊 明治二十一年刊

(補)「報徳手引草」「善惡応報鑑」と合綴。

報徳手引草 刊 一冊 明治二十三年刊

(補)「報徳学幽顯論」「善惡応報鑑」と合綴。

松浦佐用媛石魂録 刊 三冊 明治一六年刊

民間經濟録 刊 一冊 明治一二年刊

昔語質屋庫 刊 二卷一冊 明治一六年刊

夢想兵衛胡蝶物語 刊 二冊 明治一五年刊

(補)角書「滑稽島遊」。

(2) 洋装本

赤堀料理講義録 一二卷一二冊 明治四四年刊

(補)赤堀料理教場発行。

秋田の森林 一冊 明治四四年刊

(補)秋田大林区署編。

鴉片戦史 一冊 明治二七年刊

(補)松井広吉編。角書「英清」(トラファルガー海戦史並鴉片戦史)に合綴。自家製本。

編物の新しい編方 一冊 大正一三年刊

(補)小林富美子著。

威海衛海戦記 一冊 明治三六年刊

(補)平田勝馬編。

育児法 一冊 大正一二年刊

(補)豊福環・河島右一・天野誠斎共著。角書「年齢分け」。

嘘の行方 一冊 昭和一三年刊

(補)三宅正太郎著。

右門捕物帖² 一冊 昭和七年刊

(補)佐々木味津三著。

裏と表後篇 一冊 大正九年刊

(補)村上信著。

衛生指針 一冊 明治三七年刊

(補)長谷川貞雄題辭・村松良肅校閲・内田正序文。栗田又三郎編。角書「通俗」。

オーバー・ゼ・ヒル物語 一冊 大正一二年刊

(補)田中栄三訳。

記念写真帖 一冊 明治四三年刊

(補)大日本山林会第二一回総会編。

刑事手帖秘録捕物日記 一冊 昭和一六年刊

(補)伊東清蔵著。

古能美知 二卷二冊 明治三二、三年刊

(補)前田五門編。第一八号・第二卷第一号。

今日の料理 一冊 大正五年刊

(補)桜井ちか子著。角書「一品五銭」。

七大哲人 一冊 昭和三年刊

(補) 安部能成訳。

実事譚 四〇編八冊 明治一五年刊

(補) 松村操編。

写真帖 一冊 発行年不詳

(補) 王子製紙株式会社苦小牧分社編

〔西南戦史〕 一二卷二冊 明治二六、七年刊

(補) 川崎三郎著。自家製本。

西洋通史 一冊 明治三九年刊

(補) 瀬川秀雄著。

第33回日本陸上競技選手権大会 一冊 昭和二四年刊

(補) 第三三回日本陸上競技選手権大会奈良県委員会事務局編。

務局編。

第二軍従征日記 一冊 明治三八年刊

(補) 田山花袋著。自家製本。

大日本山林会報 六五冊合綴一冊 明治三五年より四三年

ころまでの発行か

(補) 二三五号より三三六号まで、欠号多し。自家製本。

椿姫 一冊 大正一一年刊

(補) 福永渙訳。

庭園植物いろは引 一冊 明治三二年刊

(補) 中塚久米之助著。

庭園図説 一冊 明治四二年刊

(補) 近藤正一著。

天眼通 一冊 大正六年刊

(補) 村上信著。

天眼通中篇 一冊 大正六年刊

(補) 村上信著。

東洋戦争実記 一二編 明治三三年刊

(補) 服部宇之吉著。〔北清戦記〕に合綴。自家製本。

トラファルガー海戦史 一冊 明治二八年刊

(補) 越山平三郎訳。〔トラファルガー海戦史並鴉片戦

史〕に合綴。自家製本。

嘆ける曙前編 一冊 大正一一年刊

(補) 三上於菟吉訳。

嘆ける曙後編 一冊 大正一一年刊

(補) 三上於菟吉訳。

日露戦史 八卷二冊 明治四〇、一年刊

(補) 国府種徳・梅田又次郎・田山録弥共著。角書「訂

正」。

日清戦史 七卷 三冊 明治二九年刊

(補) 川崎三郎著。自家製本。

日清戦争実記 七九編合綴八冊 明治二七、九年刊

(補) 島田薫編。自家製本。

日本転地療養誌 一冊 明治四三年刊

(補) 長尾藻城纂著。

日本の旗風 二巻一冊 明治三十六年刊

(補) 森林黒猿講演。角書「北清戦争」。自家製本。

人形佐七捕物帳二巻 一冊 昭和一六年刊

(補) 横溝正史著。

子日のかすみ 一冊 明治三三年刊

(補) 長谷川百太郎編。

評論徳川世記 一冊 明治一九年刊

(補) 飯田宇宙著。

芙蓉 一冊 昭和一二年刊

(補) 静岡県立静岡高等女学校同窓会編。母校移転新築記念号。

記念号。

プロレゴーマナ 一冊 昭和二年刊

(補) 桑木巖翼・天野貞祐訳

平壤包圍攻撃 二巻一冊 明治三〇年刊

(補) 藤野房次郎編。自家製本。

北京龍城日記 一冊 明治三三年刊

(補) 斎木寛道著。「北清戦記」に合綴。自家製本。

北海道森林誌 一冊 大正二年刊

(補) 北海道庁拓殖部編。

北海道鉄道沿線案内 一冊 明治四五年刊

(補) 北海道鉄道管理局編。

マクベス 一冊 大正三年刊

(補) 岩野泡鳴訳。

〔名家写真帳〕 三冊 大正初期成立か

(補) 自家製本。

明治外史 九巻一冊 明治一四〜一七年刊

(補) 松村操編。自家製本。

木材ノ工芸的利用 一冊 明治四五年刊

(補) 農商務省山林局編。

吉野林業案内 一冊 明治四三年刊

(補) 吉野材木同業組合聯合会編。

林産名彙 一冊 大正二年刊

(補) 田中芳男編。

林政学 一冊 明治三九年ごろ発行か

(補) 白川太郎著。大日本山林会報に合綴。自家製本。

林友会会報 二冊 明治四一年刊

(補) 大日本山林会報に合綴。自家製本。

早稲田学報 一冊 昭和一六年刊

(補) 早稲田大学校友会発行。

三 記録・文書類

(1) 文書

〔寺領寄進状〕 一通 (原)

寛永十年酉極月廿二日

差出 宮崎三左衛門道次

宛所 泉洞院

差上申御請書 〔渡舟運上

鑑上納請書〕

一通(控) 寛延三年年八

月

差出 戸倉村大嶺村名主

組頭百姓代

宛所 大草太郎左衛門

取替申証文 〔渡舟運上戸

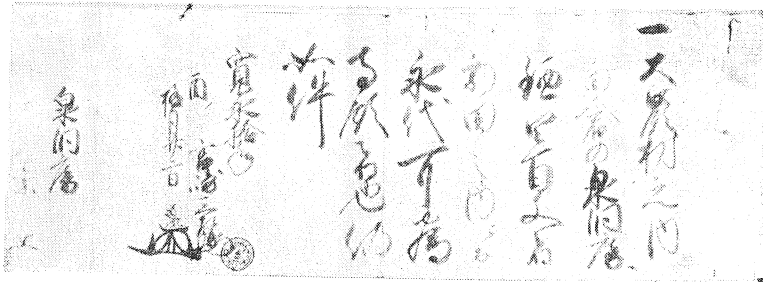
倉西川両村請負二付取替

証文) 一通(原) 寛延四

末年七月

差出 戸倉村名主次郎左

衛門・組頭平次郎



寺 領 寄 進 状

他五名

宛所 西川村佐太夫

(和田)

差上申御請書 〔渡舟

運上鑑上納請書〕

一通(控) 寛延四未

年七月

差出 大嶺村他五ヶ

村名主組頭百

姓代

宛所 大草太郎左衛

門御役所

取替申証文 〔渡舟運

上戸倉西川両村請負

二付取替証文)

一通(控) 寛延四

末年八月

差出 才川名主佐太

夫・組頭甚左

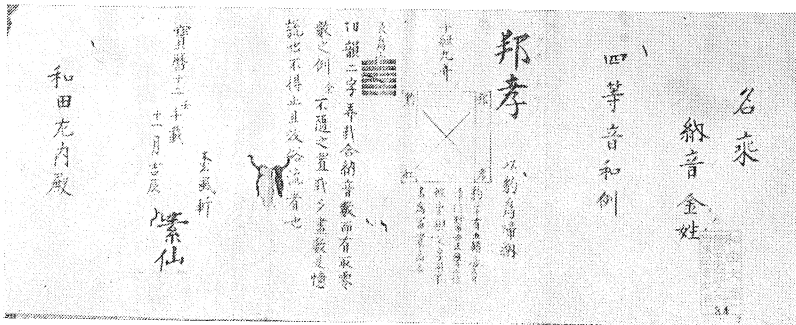
衛門他二名

宛所 戸倉村治郎左

衛門惣百姓中

名乗・居判 〔邦孝〕

二通 (原) 宝曆



名 乗 邦 孝

十二年十一月

差出 松風軒素仙

宛所 和田左内

御吟味二付指上申書付

〔渡舟運上村請願〕 一通（控）

〔明和八〕 卯年四月

差出 大嶺村名主佐太夫・組頭権兵衛他四名

宛所 大草太郎左衛門御役所

御吟味二付指上申書付

〔西川渡舟場集荷物并由來書〕

一通（控） 〔明和八〕 卯年九月

差出 大嶺村名主佐太夫・組頭権兵衛他四名

宛所 大草太郎左衛門御役所

御吟味二付指上申書付

〔角倉船積荷数書付〕 一通

〔控〕 〔明和八〕 卯年九月

差出 大嶺村佐太夫・権兵衛・甚左衛門

宛所 大草太郎左衛門御役所

〔農間稼荷物川下荷数書付〕 一通

〔下書〕

〔明和八〕 卯年九月

差出 左太夫・権兵衛他四名

宛所 大草太郎左衛門御役所

御吟味二付差上申書付

〔渡舟運上増方御免願〕 一通

〔控〕 明和九辰年十月

差出 戸倉村名主治郎左衛門・組頭平次郎他四名

宛所 大草太郎左衛門御役所

御吟味二付差上申書付

〔渡舟運上増方并二舟賃錢月々帳

吟味御免願〕 一通 〔控〕 明和九辰年十月

差出 戸倉村名主治郎左衛門・組頭平次郎他四名

宛所 大草太郎左衛門御役所

御吟味二付差上申書付

〔渡舟運上増方并二舟賃錢月々帳

吟味御免願〕 一通 〔控〕 明和九辰年十一月

差出 大嶺村名主佐左衛門・与組又右衛門他四名

宛所 大草太郎左衛門御役所

御吟味二付差上申書付

〔渡舟運上増方御免願〕 一通

〔下書〕 〔明和九〕 辰年十一月

極置申書付 〔渡舟運上戸倉西川兩村請負二付取替証文〕

一通 〔控〕 安永三千年十二月

差出 戸倉名主次郎左衛門・組頭平次郎他五名

宛所 大嶺村

〔武具修理代金請取覚〕 六枚一綴 〔原〕 安永九千年七

月二日

差出 内山小三治・八郎兵衛他三名

宛所 吉川多右衛門・和田左太夫

御尋二付申上候書付 〔農間渡世通船役二差障り無之二付

届〕 一通 〔控〕 寛政七卯年十二月

差出 大嶺村名主佐太夫

宛所 辻甚太郎御役所

差出申書付之事 〔名主交替二付小前連印請書〕 一通

(原) 嘉永元申年五月

差出 権兵衛・茂三郎他九十名

宛所 佐太夫・久平

乍恐以書付申上候 (渡舟運上新規請負人御免願) 二通

(下書) 午年八月

差出 大嶺村之内才川佐太夫・甚左衛門他二名

宛所 大草太郎左衛門御役所

差上申書付 (渡舟由來書付) 一通 (控) 成年五月

差出 大嶺村名主佐左衛門・又右衛門他四名

宛所 中泉御役所

御膳料 (祈禱料受領証) 二通 (原) 巳十一月十日、

西十一月十日

差出 秋葉寺役寮

宛所 西川和田佐太夫

「請書」と記された封紙に二通が収められている。これは「年中指南記」に挿入されていたが、ここに新たに登録する。

三休分領之伝 一枚 (原)

三休分領古流生花秘伝 是心軒一露門心応軒 (印) (白文)(朱文)

(2) 絵図

差出 大嶺村名主佐太夫・組頭権兵衛・百姓代甚左衛門
宛所 中泉御役所

〔家相見取図〕一通 (原) 天保十一子年十一月吉日

差出 沢口佐内玄徳

日明御綱絵図 一通 (控)

差出 和田左太夫

〔和田家屋敷見取図〕一通 (原)

〔和田家屋敷見取図〕一通 (原)

〔家相絵図〕一通 (原)

地図 〔土地面積丈量地図草稿〕 四舗一袋 明治二七年

八月 長上郡有玉村袴田村主測定

地図 一四舗一袋

陸軍参謀本部地図一三舗(二十万分之一)、五万分之一、

二万分之一、歩兵第六七連隊兵營附近図一舗(二万分之一)。

遠江・三河地域の地図である。

山林実測図 七七舗一袋 (原・草稿)

未完成地図 〔土地丈量図草稿〕 三二舗一袋

〔オセアニア地図〕一舗 (原) 昭和一五年十月刊 朝日

カレンダーニュース地図

〔鮎釣村御普請場絵図〕 一通 (控) 文政十一子七月

(3) 記録

地券 一八三枚 (原) 明治一三年

山林下苧帳 一冊 (原) 明治一四年一月—〔大正二年〕

山林玉付帳 一冊 (原) 明治一五年一月—〔大正六年〕

茶業蚕糸業書類 四七点一冊 (原) 明治二〇年四月—

明治三六年 定款規約類の綴込書類

株券 一枚 (原) 明治二一年八月 静岡県製茶直輪会

社株券

加地子取立帳 一冊 (原) 明治二四年—明治四二年

裏表紙、西川和田店。

農林 七点一綴 (原) 明治二四年八月、静岡県豊田郡

山名郡磐田郡連合中遠農産物品評会報告(一冊)、同附録

麦審査成績表(一枚)、米審査成績表(一枚)、蕎麥審査成

績表(一枚)、菜種煙草綿審査成績表(一枚)、明治二七

年五月、竜川勸業会試作地審査成績表(一枚)、竜川勸業

会精農者審査成績表(一枚)。

大福帳 一冊 (原)

明治一九年のものの再録を一部に含み(木挽)、大部分

は、明治三二年までのものである。和田家出入りの職人

別(大工・木挽・左官・瓦葺・桶疊庭ブリキ)、使用人

別、日雇、船勘定、銅鉄、木石陶器草木、学校道路消防

などの維持管理費、雑費の項目に分類して支出を記入したものである。

請取控 一冊 (原) 起明治三十年七月、終明治三十二

年十二月 上記の「終明治三十二年」の横に「四十二」

と併記の文字があるけれども、この内容には四十二年の

請取控伝票はないようである。明治三十二年十二月で終

わっている。

決議書 六点 (原) 明治三二年、明治三三年

明治三十二年通常郡会決議書、磐田郡見付町外四十ヶ

町村学校組合決議書、本組合解除及庚午貯穀ニ関スル残

金処分完了ニ付報告書、寄附金処分報告、庚午貯穀ニ

関スル組合積立金現在高調、各郡連帯貸付金現在高調。

規則規約定款規定報告書 一綴(原) 明治三四年 掛川農

学社、天竜川材木商業組合、横山銀行、戸川門人姓名

録、日本赤十字社、大嶺青年会報第二回、日露戦役中竜

山村振武会臨時規定、出征軍人名簿、軌道敷設願趣意書、

生命保険案内(日清生命・千代田生命・太平生命)。

出納簿 一冊 (原) 明治四十老年ヨリ〔大正三年〕

(裏表紙) 和田本家

通帳 一一冊 (原)

明治四〇年(一冊)・明治四四年(二冊)・明治四五年

(二冊)・大正三年(一冊)・大正六年(三冊)・大正七年

(二冊)。

〔判取帳〕 一冊 (原) 大正三年—大正七年 請求書・

領収証などの綴込である。

記念品贈呈書 一通 (原) 大正九年六月一六日

差出 竜山村山林組合長青山作太郎

宛所 和田佐太夫

昭和拾壹年上半年第七拾五期業務報告

一冊 (原) 昭和十一年七月二十日

株式会社北遠銀行

〔領収証書綴〕 二四枚一綴 (原)

学務委員和田喜三太郎宛のものが、多数を占める。

〔判取帳〕 一冊 (原)

〔会社名簿帳〕 一冊 (原)

(4) 家記

〔和田家過去帳〕 一帖 (原)

和田家所蔵となす (別置本)。

〔和田家過去帳〕 一帖 (原)

和田家所蔵となす (別置本)。

年中指南日記 一冊 (原)

月条に記された和田家の祭祀備忘録である。

家記 〔居宅倉庫普請事由〕 一冊 (原)

懷中日記 七冊 (原) 大正一年、大正二年、大正



年中指南日記

一三年、大正一四年、大正一五年、昭和一年、昭和四年。

家事筆記(二三) 二冊 (写)

邦孝翁追善集 一冊 (原)

寄詠者名 花島直方序文、栗田土満・栗田宜秋・本間清

行(春城)・栗田みえ・内山真竜・中山吉埴・袴田勝文

(太郎助)・潮海寺定基(高岡又藏)・横山清風・佐倉の

ふ・佐倉真国・袴田勝彦(友三郎)・米山石竜(宗右衛

門)・石川依平・丸尾清貞(良益)・花島直方(元春)。

覚書 (和田佐太夫遺言) 一通袋入 (原) 袋に要書

入と記している。

法要記録盆供共 一冊 (写・原)

安政四年十月和田楚六(直之)逝去に際しての香奠帳(写)

の記事から、記録が起こされている。明治四二年の時点

での改装であろう。檀那寺(大生寺)との取り決めの葬

儀料や人件費、供物の配膳図などが記録されている。

香奠帳 一冊 (原) 昭和二十年十二月二日 和田志朗

逝去に際しての記録で、「法要記録盆供共」の中に挿入さ

れていたが、独立させてここに登記する。

仏説延命地藏菩薩經 一帖 刊 大正一四年二月一日再

刊

御嶽經纂要 一帖 刊 明治二八年七月二〇日刊

(仮名經) 一冊 (写)

奥書 天保六未年閏七月吉辰写之、西川和田氏用

〔声明〕 一帖袋入 刊

紙背文書(写經、仏説大藏正教血盆經、龜前念仏)

西国卅三所御詠歌 番外詠歌
尊像縁起 一帖 刊 明治四二年六月一八

日發行

〔寺社御札〕 九枚 (原)

差出 永平寺(二枚)・丹後松尾寺(一枚)・丹後成相寺

(一枚)・和泉施福寺(一枚)・和泉長谷寺(一枚)・清

水寺(一枚)・中山寺(一枚)・那智山(一枚)。

〔経帙〕 一舖

〔法要引出物付札〕 三枚 (原)

〔祝詞〕 一卷 (写)

(5) 雑

〔和田家蔵書目録〕 一枚 (原)

和田家文書仮目録 一枚

国学院大学地方史研究会により、作成されたものであ

る。

郷土志料第三回展覽会陳列目録 一通 (原) 昭和二年

静岡県立葵文庫

〔中島木鶏評伝小文〕 一枚 (写)

筆者不詳の旗本中島三郎助(下田奉行、榎本武揚に従い
五稜郭の戊辰戦役に尽くす。明治二年五月十五日死去、

四十九歳)の評伝小文。この一紙片は「俳句集」中に挿入されていたもので、ここに新たに登記する。

入隊遅延届 一枚 (原)

書状 五通 (原) 封書四通・葉書一通

電報頼信紙 一枚

竜山郵便局昭和四年度新設電話番号表 一枚 (原) 昭和四年

(和服仕立覚) 一冊 (写)

米味噌醬油砂糖特別配給申請書 一通

(新聞記事切抜) 九枚

本山荻舟評、我家の自慢料理

絵葉書 一五枚三袋 (原) 朝鮮金剛山京城名勝 サンフランシスコ

時事新報写真ニュース 四枚 (原) 昭和十一年 56号

七月一七日ベルリン到着水泳代表団、59号七月二七日東京霞町婦人防護団、56号八月一四日勘弥・好太郎軍対井上正夫軍対抗野球試合、66号八月一七日ハワイより大陸

亀答札に贈らる。

(拓本従軍記念之碑) 一面

香 包紙七枚 裂三片在中

(包装袋) 五点 小間物袋 (二)・菓子袋 (一)・繭採集袋

(一)・包紙 (一)

(呉服量紙) 九枚

帳面 三冊 楽譜一冊・単語帳二冊

(素描肖像画) 一点 小学校五年和田明

(和田氏家族写真) 二〇四一枚(別置、歴史学研究室保管)

明治期以後の遠州地方の名望家の、家庭状況や時代風俗を知ることが出来る資料として貴重である。なお、右は、アンブロタイプといわれるものらしいガラス板焼付の二枚を除いて、他はすべて印画紙焼付のものである。また、付属として、葉書一枚、関西学院陸上競技部(発信)、早稲田大学競技部(受信)、昭和十七年九月二十四日付と、大隈老侯生誕百年記念絵葉書四枚一組とを含む。

通告表 明治四十四年度浜松尋常高等小学校尋常科第五学年

一之組 和田廉平

付 (別置、歴史学研究室保管)

鎧櫃入甲冑袴領(要修理)、膳部袴客、飯詰袴個、水盤式器、藤文庫袴函。

後記

和田家は、天竜川中流、静岡県磐田郡竜山村さいがわ西川に、数百年にわたって土着し、山林業・酒造業を営み、傍ら天竜川の舟運も統轄した旧家である。代々佐太夫を名跡としていた。同家十四代の和田明氏（前静岡県陸上競技連盟理事長）は、戦後間もなく、土蔵と離れ座敷を残して、浜松に居を移された。

今回、本学が寄贈を受けた蔵書の主なるものは、同家の先祖邦慶（生年不詳―一七七三）・邦孝（一七七四―一八〇九）・邦道（一七八一―一八五七）によって集められたもので、残された土蔵の、特別にしつらえられた押し入れで、俵匭箱二十八個の中に納まっていた。防虫剤が十分に使用されていたし、年二回の陰干しがなされていたということで、代々格別の配慮をもって守られてきたものである。保存状態はきわめてよい。

「何もないほうがいい。残されたものを後生大事に抱えているよりも、自分の手で作り出したい」と言われる和田氏は、この貴重な蔵書を、恬淡として公の場に提供された。そのご好意に報いねばならない。

内山真竜と親交のあった邦孝の蒐書が中心と思われるが、蔵書のいずれもがただ揃えておくのではなく、実際に読むた

め学ぶために使用された跡を見る時、遠州国学の先人達の気迫を肌感ずる。

元来一つの土地にあったものは、その土地に残して置くべきで、大都市に集中すべきではない。しかし、図書を公の資源と考えるならば、特色ある図書館を作り、それら図書館間の相互利用こそ、今後とるべき道ということになるであろう。県西部の県立図書館の性格をもった本学図書館は、和田文庫を出発点として、遠州地方の貴重な資料を収めていきたいものである。

昭和五十七年二月

和田文庫目録編集委員会

委員

本学 教授	稲垣 瑞穂
同	岩崎 鐵志
本学 助手	小島 玉美
本学 教授	佐藤 彰
同	鈴木 保彦
本学助教授	須田 悦生

（五十音順）

静岡女子短期大学附属図書館

浜松市布橋三丁目二番三号

電話浜松五四―四四八六(代)